

交通安全

宣言都市

青少年愛護

かつやま

市 広 報

発行人 福井県北上市
〒910 北上市
〒910 北上市
〒910 北上市

北保育所 新築完成

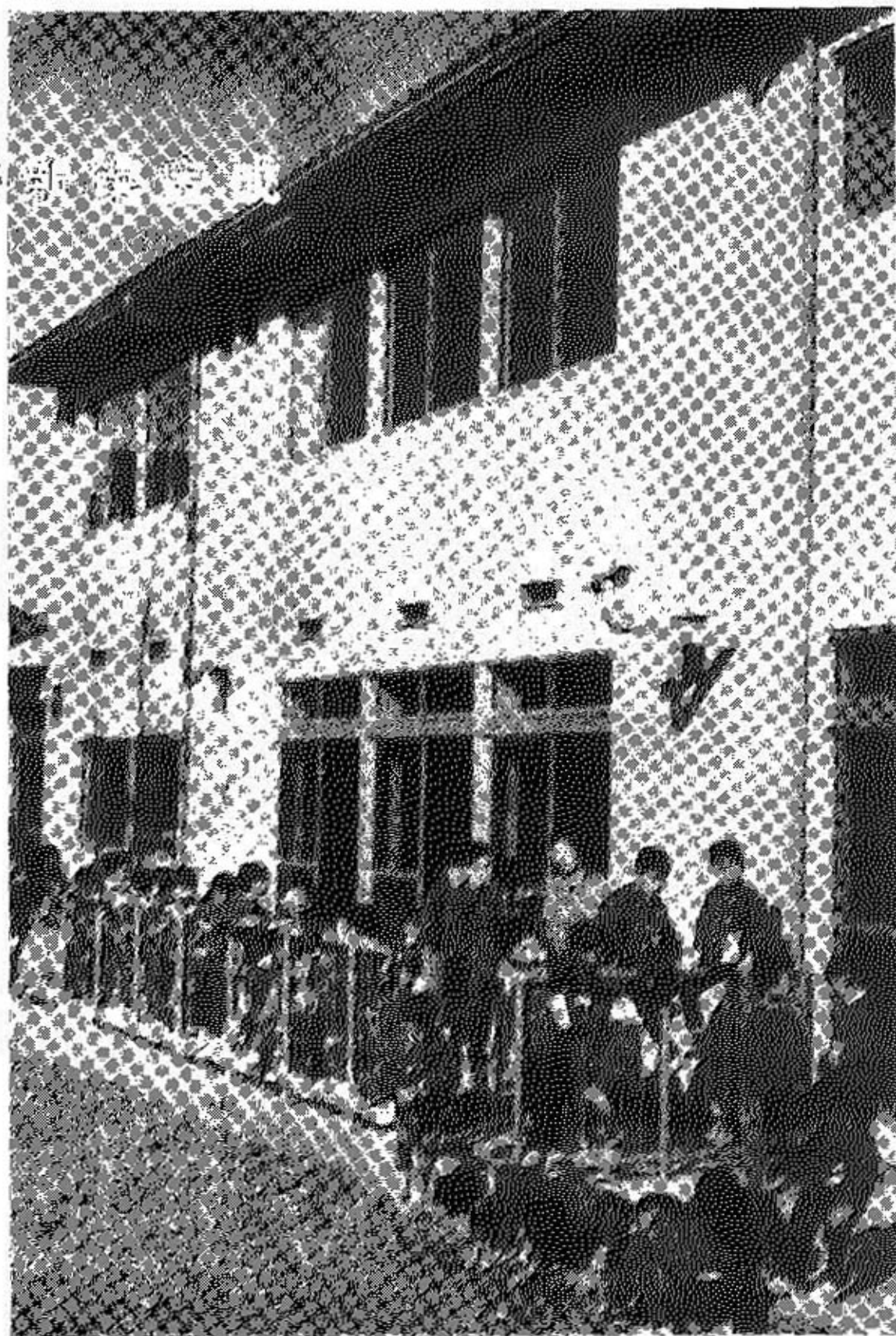
室内は
温かく
家庭的

市の重点政策の一つである保育事業の充実は年をおって進められています。今度新しく老朽化のほげしい北保育所の建物の新築工事が完成しました。

新保育所は、▷総工費10,055千円▷木造二階建て▷面積390平方メートル▷保育室2のほか、乳児室、遊戯室、調理室、ホフク室、調乳室などがあります。室内はとくに家庭的な雰囲気を出すための配慮が充分になされた、温かい感じの建物です。

秋の日差しをいっぱい受けた保育所には、子供たちの明るい顔と元気な声がみなぎっています。お母さんたちも「立派になって…」と大喜びです。

なお同所の定員は乳児30名、幼児90名、合計120名です。



命が守る守るわが命

交通安全の作文と標語

荒土小 西野千里さんらが入選

毎月のように起る悲しい交通事故をなくしようと、市で募集した小中学生の交通安全標語と作文の入選者がまきり、秋の全国交通安全運動最終日の十五日市民会館で表彰式が行なわれました。

小学生の交通安全標語と作文の入選者がまきり、秋の全国交通安全運動最終日の十五日市民会館で表彰式が行なわれました。

作文入選

入選 小林あきこ(北郷小3年)、片田直美(成西小3年)、西野千里(荒土小5年)

佳作 石田幸康(鹿谷小6年)、田中みつひこ(北郷小4年)、小林喜代美(鹿谷小4年)、別田春美(成西小5年)、加藤真優美、土谷真智子(成南小6年)、山岸祐子(村岡小6年)

標語入選

むりするな横断歩道はそこにある
必ず守るわが命
とびだせば必ず車がかってくる
きょうも事故なしあしたも事故なし心配なし
あぶないぞをきけてあるくと事故のもと

こわれた車

荒土小五年 西野千里

わたしの家の前の県道には、一日、千台近くの車が通ります。県道を横断するだけでも、十三、六台の自動車を通らなければなりません。そんな時は、(こんなたくさんさんの自動車を通るなら横断橋を作ってくれればいいのに)と思うことが何度もあり



万です。夕方にになると車の音が家の中にまで聞こえてきて、やかましいほどです。わたしたちは、毎朝学校の時は、右側を走りつけて通っています。一日千台もの自動車

自動車を通る道路をしぼらくの道のリマですが登校下校に通ります。

特に、部落長のわたしは、一年生や二年生の子を引き連れて登校するのでも、事故が起きないように、いつも気をはっています。もし、一年生や二年生の子がけがでもしたらみんなわたしの責任になってしまうのです。県道をこえて細い道にはいるとやっとなりして、それを免れた母は、驚くくらいとびだしてしまいました。わたしは、その血を見なくて、よかつたと思います。その車の持ち主は、川向(こう)の人で、わたしの家からよく見える家の主人だったといっています。

その車は、道路を止しく走っていたのですが、福井の方から走って来た車が白線をこえて来て森川(もりがわ)でしごうとつたそうです。また、昨年このあたりで事故で死んだ人がありました。それは、となり村の人でメチャメチャの車には、毎日、お花と線香があげてありました。その人の子もわたしは、かわいそうだと思います。わたしも、つい頭が下がります。



入選者表彰式

家のすぐ近くの道路の右側のみぞに落ちた車を見ました。夜でよかつたと思いましたが、たれかがひかれていたかもしれないと思うと、やつぱり運転や、スピードの出しすぎは、ほんとにやめてほしいと心からなげきます。わたしは、きょうきょう車のサイレンの音を聞くたびに(あ、またどこかで事故が起ったのかな)と思うと、小さな事故であるように、いらいれさせません。昨年のおぼん(おぼん)「スピードの出しすぎの

今日、伊波から松田にかけて、バイクがでるそうです。わたしは、みんなが安心して通れるように、早くなってほしいと思っています。それといっしょに、運転手のおじさん、おにいさんたちは、スピードを出しすぎないように、交通の守りを守って、安全運転をしてほしいと思います。

教育の窓

11月16日は 家庭の日

はたらく人に感謝し
自分でできる仕事や奉仕につとめよう

ある中学生の父親が話してくれたことですが「わが娘は年中夕食後の始末を欠かしたことがない。どんなにテスト中であろうと、母親が手助けしようものならたちまち気鬱をこねてしまう」とのこと、実にほほえましい聲です。

「子供は勉強さえてくれればよい」「やらせるような仕事がない」「仕事を与えてもやってくれやしない」など家庭それぞれに悩むやきがあるでしょう。しかし、ほんとうに家族の一員としての喜びや自覚を高めるためには何らかの形で家事に参加させることです。

ある学生は「最近家庭生活が豊かになってきたためにかなりレジャーを楽しむようになって来ている。これがやがてはレジャーを楽しむことでは満たされなくなり、やがて社会に奉仕することで生き甲斐を感じるようになっていく」と言っています。お互いの努力でそうした時代が少しでも早く来るようにまず家庭で「はたらくこと」の尊さ、勤労に対する感謝の念、奉仕する態度を育てましょう。

婦人民生委員らが

老人の寝間着作り奉仕



勝山地区の婦人民生委員らが、静養の日の十五日、市民会館で寝間着作りの奉仕をしました。

市内には喪たぎりの老人が百二十七名おり、このうち半数が一人暮らしで恵まれない生活をしています。これらの老人に寝間着を贈ろうと民生委員が中心になり市民に愛の呼びかけを行なったところ多くの賛意が寄せられました。そこでお金や反物で寄せられた分を縫製者に仕上げようと婦人たちの奉仕活動となりました。

この日は十五着が縫い上がり、月末までに集ったものを合せてお年寄りに贈りました。

勝山 季語

○早柿 正月飾りに県外都市へ出荷する早柿作りは柿ごろも鹿谷町が三百年余の伝統を誇ってきた。柿は豊乳種が選ばれ四つぎに五つぎがある。串はカビが生える竹を用いず、春に栗の若枝を切り保存して使う。

○山椒醬油・トロロ 山の紅葉も毎冬一般と色深くなり、谷間に霞は自然の雲が切れないころを見計って、止着細りが行われる。長い箸を折らずに握りこくるためには、技もいりあかがる。

特別な湯瓶具を用いたりする。自然葉をすりおろし、薬味もなく生醤油でトロロ、味噌汁のはすトロロは、山椒の風味が濃厚。手打そばのツナギには欠かれない。薬味にかける八重トロロ

〇大根引・千大根 大根引く口の口は二十日ごろ、一家総出で、引いて遠くまで洗ひ上げる。雪国では生食に次ぐ重要な野菜、冬用の貯えに干したり漬けたり、生のまま土中に埋めて薬用いしたりする。陽干りのよい軒下に、すりと焼くみして吊され干された沢庵大根は、吊柿・勝葉と共に晩秋の風物。ゆでた大根葉を水筒に漬けたスナナ(葉菜)のことは、今ももう少しあった。

〇辛田楽 名産の芋の手を竹串にさし口楽に仕立てるは、この地方の名物。いろり火の廻りに餅を立て、味噌も焼き焦して熱いのを食べるが達上。串刺しの鍋田楽もある。

若人の奉仕クラブ

ローターアクトクラブ誕生

若い人たちの奉仕クラブである勝山ローターアクトクラブ(会長佐々木豊兵衛)が、ローターアクトクラブの提唱で誕生しました。会員資格は十七歳から二十五歳までの男女で現在会員は二十五名ですが三十名にふやす予定です。

今後職業、地域社会、国際分野などの三六分野で、ローターアクトクラブの指導と助言を受けて、奉仕活動を行います。



重症心身障害者に 月千円の手当を支給

重症の心身障害児(者)の福祉は大き

とき 11月22日(土)午後6時開演
ところ 市民会館大ホール
主催 プレイガイド 元禄カンパ

民族歌舞団 わらび座公演

- ① 身体障害者手帳を所有していて三級以上の重症身体障害児(者)で常時看護を必要とする人(但し施設へ入所している人は除きます)
- ② 児童精神障害児(者)児童福祉課所長の判定書が必要となります。
- ③ ①と②以外の人で新たに重症心身障害者となった人は十二月二十日までに申し出てください。この場合は本年四月分から支給されます。
- ④ 今後不幸にして重症心身障害児(者)となられた人はその都度申し出て下さい。
- ⑤ 今まで県庁から重症心身障害児(者)の福祉手当月額五百円を支給している人は改めて届け出る必要はありません。

たばこは 市内で 買いましょう

「たばこ消費税」は市の財源となり、道路や橋、学校の建設に大きく役立っています。

みなさんが、ハイライト1個を買うとたばこを売った店の地元の市町村に11円60銭・県へ6円60銭の割合いで、翌月中に専売公社からたばこ消費税が納入されます。

48年度中に当市に入ったたばこ消費税は、3,061万円です。市の財政上の貴重な収入となっています。みなさんが毎日吸われるたばこはもちろん、旅行用のたばこ、贈答用のたばこもすべて市内のたばこ屋さんで買うように心がけてください。

新築のときは 電話用配管をお忘れなく

鉄筋コンクリートやモルタルの建物で電話配管がないと電話の取り付け工事がむずかしいので、新築工事の際にはあらかじめパイプを壁に埋め込んでおきましょう。

電話用配管がなかったための電話の取り付けが滞ってサンパリ販売にならなかつたという例もありますから将来のことでも考えて設計しましょう。

昭和43年度決算

1. 財政状態

資産合計 (固定資産、流動資産) 98,420,638円
 負債資本合計 (固定負債、資本金、剰余金) 98,420,638円
 (上記のうち繰越欠損金 5,395,995円を含む)

2. 経営成績

水道事業収益 38,801,582円
 水道事業費用 26,428,103円
 差引純利益 12,373,479円

1,237万円の黒字

43年の 水道会計決算まとめ

水道会計の昭和四十三年度決算および四十四年度上半期の業務状況を公表します。
 四十三年度は前年に引続き給水戸数の増加と、生活水準の向上にともなう使用水量の著しい増加により営業収益は、三十八億八千万一千円(千算額)に対し一・二パーセントの増(一・一・二パーセントの増)。
 これに対し営業費用は、三億六千四百四十二万八千円(千算額)に対し二・二パーセント減)で、純利益は二億三千七百三十四千円の純利益を生じこれを繰越欠損金に繰り入れました。また、立川線係り水道水源井の能力低下に備え、立川線係りにおいて現在第二水源井の拡張工事中で、近く完成の予定です。
 種別計以上の二千三百三十八万八千円です。
 四十四年度上半期は、給水戸数の増加と水道水源井の能力低下に備え、立川線係りにおいて現在第二水源井の拡張工事中で、近く完成の予定です。

昭和44年度上半期

昭和44年4月1日から9月末日までの業務状況は次のとおりです

事項	昭和44年度		昭和43年度		対増減額
	千円	千算額との割合	千円	千算額との割合	
事業収益	20,941	58.99%	17,500	45.10%	3,441千円
うち給水収益	19,936	64.27	16,346	50.23	3,590
事業費用	9,990	35.92	9,948	32.38	52
うち支払利息	2,093	31.49	2,174	29.99	81
給水戸数(増加分)	88戸	58.66	67戸	33.50	21戸
給水量	635,563m ³	65.45	528,749m ³	49.37	106,814m ³
水建債	29,400千円	-	39,200千円	-	9,800
企業債	62,439	-	64,905	-	2,466

自衛官募集

- 年令 18歳~25歳未満の男子
- 試験 筆記、口述試験、身体検査
- 待遇 衣・食・生活給のほか、初任給一万六千円、各種手当、賞与年三回支給

論文募集

『成人の主張』

ふるって応募ください

市教育委員会は新成人を対象に次の要領で『成人の主張』論文を募集します。ふるって応募ください。
 1、応募資格
 昭和44年1月1日から同年12月31日まで生まれた市内在住のもの
 2、論文の要領
 次の課題のなかから選り一人一題に際る
 (1) 成人として思うこと
 (2) 働くことによること
 (3) 成人の人生を歩みたい
 (4) こんな社会を築きたい
 (5) はたその夢
 3、応募の方法
 (1) 四百字詰原稿用紙4枚以上6枚以内
 (2) 応募論文には、住所、氏名、性別、職

消防署から三つの願い

- ① せまい道路に駐車しない
 最近では自家用自動車が増加してせまい道路への駐車が多くなっています。火事が起きたとき、消防自動車出動の際に火事現場近くへは自動車を取り入れない
- ② 火災現場近くへは自動車を取り入れない
 火事の時、自動車で駆けつけ、現場近くに駐車しておく人があり、消火活動の際に火事現場近くへは自動車を取り入れない
- ③ 火事の際には通行員は、次の出動に備え
 火事の際には通行員は、次の出動に備え、非番員の召喚、関係機関への連絡、火災現場からの無関係な人など大変にしく、応募できません。

- ④ 火事の際には通行員は、次の出動に備え
 火事の際には通行員は、次の出動に備え、非番員の召喚、関係機関への連絡、火災現場からの無関係な人など大変にしく、応募できません。
- ⑤ 火事の際には通行員は、次の出動に備え
 火事の際には通行員は、次の出動に備え、非番員の召喚、関係機関への連絡、火災現場からの無関係な人など大変にしく、応募できません。

尿 トイレの冬仕度は早めに

尿
 トイレの冬仕度は早めに
 冬が近くなりました。便所の汲み取りは早めにすませておきましょう。
 毎冬きまつて年末に汲み取りの申し込みが殺到します。しかし、し尿処理場の処理能力には限界があり、年末になって業者に汲み取りを急がれても受け入れることができない場合もあります。各家庭では便槽の

- (3) 提出期限 45年1月6日(月)
- (4) 提出先 市教育委員会社会教育課または市内各公民館
- 4、表彰
 優秀1点、優秀2点、佳作3点を各賞状、入賞者には賞状と記念品を贈呈
 表彰式は、成人式(45年1月15日)の席上

国保だより
 市の国保では11月30日午前10時から市民会館で国民健康保険加入の健康優良家庭表彰式を行います。また同午後1時から医学講演と無料健康相談を次の通り実施します。多数おでかけください。
 ◇講演 演題「精神と健康」
 講師 金沢大教授 医博 大塚長作氏
 ◇無料健康相談 午後2時~4時
 内、外、結、腫など各専門医師20人が担当します。健康の心配ごとは何でも相談に応じます。

傷害特約つき 簡易保険増強運動について
 交通事故や火災被害から市民を守る上と勝山郵便局では、傷害特約つき簡易保険を九月一日から、はじめましたが、なかなかの好評を得ています。
 そこで、十一月を傷害特約つき簡易保険増強運動の期間として、簡易車手帳で、できるだけ安い保険料の、従来と違った国民生活にマッチした保険内容の傷害特約つき簡易保険を各家庭へ周知宣伝するために、勝山郵便局員が訪問いたします。十分に傷害特約つきについてお尋ねの上ご利用ください。

また、便槽のなかにビニールや布製物、ハサミ、くきなどを入れたり、落したりしないように、これらの異物は消化されないで、処理場の機械を破損する大きな原因となっています。
 各家庭で十分に注意ください。
 傷害特約つき 簡易保険増強運動について